



地域の安心を守る。

問合せ 危機管理課 ☎33-4112

火災や自然災害発生時などに活躍する、地域の消防防災の要として活動している消防団。現在は2,285人の団員が在籍しています。

さまざまな災害に対し、地域防災の中核として活動。令和2年7月豪雨の災害時も被災地で活躍しました。また、日頃から訓練を行うとともに花火大会の警戒活動や年末の巡回活動を実施しています。



消防団の主な活動

- (1) 火災発生時の消火活動、火災現場警戒など
- (2) 火災消火の基礎知識やポンプ等の操作習得、訓練、大会出場、出初式
- (3) ポンプ車や積載車などの定期的な点検
- (4) 年末警戒、花火大会などにおける警戒
- (5) 水難・山岳救助活動や行方不明者捜索など
- (6) 風水害などの災害予防や警戒、地震や災害発生時の避難誘導など
- (7) 応急手当指導や防火意識の啓発

主な年間行事

4月	辞令交付式
5月	新入団員規律訓練（中・初）
6月～12月	県消防学校入校
10月	防災訓練
11月	秋の火災予防週間
12月	年末警戒
1月	出初式
3月	春の火災予防週間

女性消防操法大会



令和2年7月豪雨での
行方不明者捜索



あなたの力を消防団に

地域の安心を守りませんか

団員は地域に密着し、地域のことを熟知している人たちだからこそ、被害の拡大を抑えることができ、愛する地域を守るため住民の安全と安心、そして大切な命を守りませんか。

入団するには

市内に在住または勤務している18歳以上の人ならどなたでも入団できます。申し込みは危機管理課または各支所地域振興課へ連絡ください。

消防団の処遇

団員は非常勤特別職の地方公務員で、条例に基づいた報酬・出勤手当、年数や階級に応じた退職報酬金の支給、被服の貸与や公務災害補償などが受けられます。

機能別団員・分団制度

それぞれの能力やメリットを生かしながら、特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動ができます。

学生消防団活動認証制度

真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ多大な貢献をした大学生、大学院生、専門学校生などに市がその功績を認証し、就職活動を支援することを目的とした制度で、消防団員として活動した学生に「学生消防団活動認証証明書」を交付します。

女性消防団員募集中

主に火災予防運動の啓発や防火訪問など家事や育児、仕事をしながら、活動することができます。

企業でも防災力UP!! 消防団協力事業所表示制度

勤務時間中の消防団活動に対しての便宜や、従業員の消防団への入団促進など、事業所としての消防団への協力が社会貢献や社会責任として広く認められるものです。

認定を受けるためには、市の実施要綱の基準に適合することが必要です。認定されると、市から

「表示証」が交付されるとともに、市ホームページなどでも公表され、信頼性の向上やイメージアップにもつながります。

また、八代市工事入札参加者資格審査格付け基準における主観点に、5点が付与される優遇措置があります。

※八代市消防団協力事業所表示証を交付している事業所は次のとおりです。

日本製紙八代工場、江川組、東設備工業、高野組、堺建設、土井組、マツミ工業、村川建設、光里環境、宮崎工業所、岩奥産業、森田組、小笹建設、井上組、ユーテックス、ホリタシステム、野田建設、宮崎工業、小林電工、増田土木 計20事業所



INTERVIEW

わたしの街の消防団員インタビュー

Volunteer
Fire Fighter
02

父の姿に憧れて

永田 恵史郎さん(泉町)

八代市消防団 泉方面 第3分団



普段は学生として過ごしていますが、昨年4月に泉方面第3分団に入団しました。入団のきっかけは、幼い頃から消防団活動をする父の姿がかっこよく輝いていたからです。実際に年末警戒の広報活動などをすると、地域の人たちから感謝の声をもらい「自分が地域の安全を守るんだ」という思いが強くなり、日々の生活でも火はきちんと消すなど当たり前のことを、注意深く行うようになりました。

学生生活との両立もしやすいよう、周りの先輩方がサポートしてくれ

るし、将来についての相談にも乗ってくれるので、新たなつながりを持つことができて良かったなと感じる瞬間が多々あります。

まだ入団して短いですがこれからいろいろ経験をし、自分ができる精一杯の行動を率先して行う団員になりたいと思っています。

消防団員は活動中のけがなどの補償もしっかりしているので、安心して活動できます。ぜひ同世代の人にも入団してほしいです。

感謝の言葉がやりがいに

Volunteer
Fire Fighter
01

山本 一樹さん(日奈久新開町)

八代市消防団 団長



私は地域の先輩から消防団に誘われ「自分のまちのためにできることをしよう」と思い入団し、約47年間活動しています。

力仕事が多いというイメージがあると思いますが、老若男女さまざまな人が在籍し役割分担があるので、忙しい、大変ということはないです。

昨年は令和2年7月豪雨で被災した坂本地域の土砂撤去などを団員一丸となって取り組みました。

「消防団がいてくれて良かった、ありがとう」という言葉をいただく機会が多く、感謝の言葉が日々活動し

ていく中で励みになります。

市民の皆さんには地域での消防団員の活動へのご理解・ご協力をいただくとともに火災報知器を付けるなど、家庭でできることを注意してもらい、自分たちのまちを一緒に守ってほしいと思っています。

現場での活動だけが消防団の役割ではなく、各家庭に注意を呼び掛けるなど、地元のためにやりたいという気持ちがあればぜひ入団して、一緒に八代を守っていきましょう。